

遅れず穂肥施用と水管理徹底で 食味・品質向上!!

～ 管内の生育状況(7/10現在) ～ 【草丈】短い 【茎数】多い 【葉数】並 【葉色】並

穂肥1回目は「遅れず」「しっかり施用」で収量安定化!

【有機質割合が高い肥料の場合(魚沼ロマン有機穂肥等)】

○ 散布時期:出穂20日前(主茎幼穂長:0.5cm)

必ずほ場で幼穂長を確認しましょう

○ 散布量:窒素成分1.0~1.5kg/10a (魚沼ロマン有機穂肥の現物散布量:10~15kg/10a)

※ 1回目は、地力、葉色から勘案し施用しましょう。(葉色が下がっている場合は「早め・強め」等)

【出穂20日前(主茎幼穂長:0.5cm)の生育指標】

草丈 73cm以下

茎数 440本/m² (60株植え:24本/株、50株植え:29本/株)

葉色 3.5以下 (葉色板 群落)

出穂期とは「出穂すると思われる茎の40~50%が出穂した日」です。
(全ての穂が出た日ではありません)

【出穂予想】 ※ 平成並み

ほ場	移植日	出穂予想
気象感応ほ(藪神)	5/23	8/7
品質向上実証ほ(藪神)	5/20	8/5

※出穂予想は随時変更されます。最新の出穂予想を携帯メール稲作情報で配信しますので、最新情報を活用してください。



※ 従来の有機質割合の低い肥料を使用する場合は、1回目を出穂18日前、2回目を10日前に散布しましょう。

※ 穂肥診断、出穂日別の穂肥施用時期早見表等の詳しい資料は指導会資料(営農センター、振興局HP等)をご覧ください。

穂肥2回目は「遅れず」「基準量施用」で食味・品質向上!

【有機質割合が高い肥料の場合(魚沼ロマン有機穂肥等)】

○ 散布時期:出穂12日前(主茎幼穂長:5cm)

○ 散布量:窒素成分1.0kg/10a (魚沼ロマン有機穂肥の現物散布量:10kg/10a)

※ 葉色が濃い場合は散布量を控える。

※ 2回目の施用が遅れると食味を落とす可能性があるため注意!

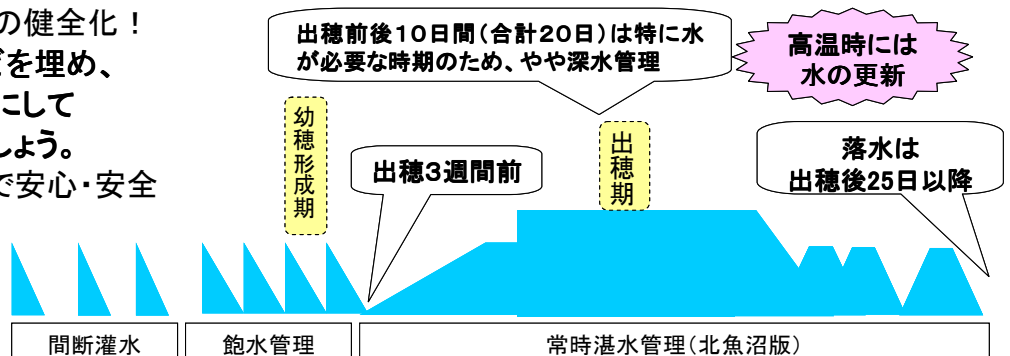
水管理の徹底で食味・品質向上!

○ 水管理の徹底で穂肥を吸う根の健全化!

※ 穂肥施用前に、ほ場のヒビを埋め、
表面がやや柔らかい程度にして
穂肥をよく吸う状態にしましょう。

○ 出穂3週間前からの常時湛水で安心・安全な良食味・高品質米生産!

○ 後半までしっかり水をかけて胴割れ防止!



不明な点は農協営農センターまたは普及センターまでおたずねください。携帯メール会員募集! 営農センターへお問い合わせください。